

# ～ ベスパの取り組み ～

ベスパでは最高のケアを生むためには「どんな取り組みが必要か？」を事業所全体で考え、取り組んでいます。

## 👉 働き方に関する相談は何でもOK！

月に〇〇円ほど稼ぎたいけど税金とか払ったら手取りはどのくらいかな？

この時間帯は私用で空けたいんだけど、、、

体力的にも身体は難しいから生活介護中心が良いな、、、



希望収入額に対する税金や保険の負担額などを個々の状況に応じてシミュレーションし、**安心して働ける環境をサポート**しています。

ライフステージの変化や生活環境は個々に違います。ベスパでは働き方に関する定期相談を行い、**ワークライフバランスの充実**を図っています。



## 👉 ベスパスタンダードの構築

「これだけは全員共通」「ここはご利用者に合わせてアレンジ」といった感じで、標準化出来るものは出来るだけ標準化し、パートナーを「一人にしない」「迷わせない」ための仕組みづくりを頑張っています。全体の業務をスリムにできれば、その分ご利用者へより専門的な支援が提供できる環境になると考えます。



## 👉 プライベートを守るためのルール

業務上必要な職種や社用携帯を貸与された職員など、一定の職員以外は**個人の連絡先**をご利用者又はそのご家族と**直接交換することを禁止**しています。



## 👉 スキルアップの時間

事業所内研修はもちろん、サービスとサービスの中に纏まった時間があるときは積極的に研修資料などを作成していただき、**知識の向上に繋がるよう工夫**しています。



まずは同僚と一緒に、あなたのペースで始めては？

**ベスパは働く方一人ひとりにしっかり向き合います！**

「見学・相談だけでもOKです♪」



ベスパ訪問介護ステーション 職場環境等要件に係る取組一覧（令和8年度）

区分	内容
入職促進に向けた取り組み	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動
	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機械の確保
両立支援・多様な働き方の推進	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
	有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている。
腰痛を含む心身の健康管理	職員の身体の負担軽減のための介護技術の習得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための取組	現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している。
	5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている。
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている。
	業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入※
	業務内容の明確化と役割分担を行い、福祉・介護職員が支援に集中できる環境を整備。特に、間接業務（食事等の準備や片づけ、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等）がある場合は、間接支援業務に従事する者の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。※
やりがい・働きがいの醸成	利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等を共有する機会の提供

※福祉・介護職員等要件が対象